

診療内容（手術）の説明記録

- ・ 現在考えられている病名

- [illegible]

100

腹股溝腫・鼠所再発疑い

- ・ 現在の病状とこれまでの検査結果

★十二指腸の通過障害がCT・胃力メウ・胃透視検査で確認されました。

腺癌の再発も認めます。

予定している手術

國際城下十二間小學聯合籌

胃と小腸を吻合します。

腹部に数力所の小さな穴を開け、二酸化炭素を腹腔内に注入します。

胃と小腸の吻合は、器械にて行います。

橋中の状況により予定外の橋式となったり、橋式を追加することもあります。

席の転移が多数見つかる場合があります。

また、腹腔鏡手術が困難な場合は開腹手術に移行します。

場合できない場合があります。

- ・手術に伴う危険性（起こりうる合併症や副作用）と対処法

以下のことが起こります。

- * 出血・・・腸出血が必要になる場合があります。
- * 感染症・・・創感染や腹腔内感染
- * 吻合不全・・・腹膜炎となります。再手術を要します。
- * 吻合部通過障害・・・再手術や長腸の切除・点瘻が必要になることがあります。
- * 心、脳血管障害、肺エコーミオクラス症候群（肺血栓）、肝腎機能低下等、非常に希ですが起こります。

- 感染症・・・創感染・腹腔内膿瘍

●吻合不全・・・腹膜炎となります。再手術を要します。

●物全部通過障害・・・再手術や長期間の絶食・点滴が必要になります。

- 心、脳血管障害、肺エコーノミークラス症候群（肺塞栓）、肝腎機能低下等、非常に希ですが起こります。

肺塞栓の予防として、下肢ストッキングをはいていただきます。

また途中に下段にマッサージを开始します。

断続の早開園東が予防につながります。

- 肝の圧迫による肝障害
- 胆管癒着による胆閉塞
- 肺炎、無気肺

● 腸管癒着による腸閉塞

● 關於「國貨」

- ＊他臓器損傷・・・腸管、胃、脾臓、血管など
 - ＊ダンピング症候群、輸入脚症候群、体重減少
 - ＊消化吸収障害
 - ＊術中の体位固定による関節や神経の障害
 - ＊術後、麻酔が急激に進行する場合があります
- など

＊ダンピング症候群、輸入脚症候群、体重減少。

* 消化吸収障害

★術中の体位固定による関節や神経の障害

● 雨後、雨が急激に進行する場合があります。

など

術後重傷になる場合もあります。

命にかかわる合併症がおこることもあります。

上記以外のことも起こります。

医療の質や医療技術の向上の為、本治療の経過で得られた検体・画像・データ等を匿名化し
たうえで、学術協会・研究・論文などの資料として使用させていただくことがあります。
この同意は、いつでも撤回することができます。

説明を行った日時：平成29年10月18日

説明を行った医師

同席した医師または看護婦

記載者署名

同意書

神戸市立医療センター西市民病院長 宛

私は、現在の病状ならびに検査や治療などの必要性、内容および危険性について十分な説明を受け、理解しましたので、その実施を承諾します

患者樣氏名 (署名)

同意者樣氏名 (署名)